

【取組内容】 少人数における学習者主体の授業

>> 「学習者主体」となる授業へ向けて

1. 導入・・・児童生徒が、授業の見通しをしっかりとって授業に臨むことができる。
2. 展開・・・中心発問について児童生徒それぞれが思考することができる場面を設定する。
3. 終末・・・学んだことを振り返り、自分のことばで伝えることができる。

導入

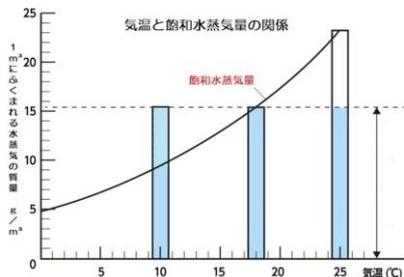
<めあて>

冷やした水を入れたコップに水滴がつくのはなぜだろう。

- 1 本時の目標と流れを確認する。

【目標の明確化】

- ◇めあてを提示し、Google Classroomを通して、学習内容を確認、各自で見通しをもって進める。



展開

- 2 実験結果と関連する「気温と飽和水蒸気量との関係」のグラフを読み解く。
◇課題とグラフを関連付けながら、Googleスライドに考えをまとめ、水滴がつく理由をペアで話し合う。
C：「飽和水蒸気量」・・・「飽和」って何？
T：このグラフ「再結晶」のグラフに似ていませんか？
C：ということは、水滴はあまっちゃったのかな？
- 3 生徒の発言をもとに学習内容について確認する。
- 4 本時の課題について、対話しながら図にまとめる。

【山場の工夫】

- C：飽和って、満タンってことかな。
C：余ったから出てきたのかな。
T：なぜコップの表面につくのだろう？
C：コップの周りの気温が下がると・・・

- 5 まとめた内容をGoogleスライドを使って全体へ説明する。



終末

- 6 今日の学習について振り返り、次時の学習の確認をする。
◇Googleフォームで学習の自己評価する 【確かな見届け】

- 専門用語をどのタイミングで示すか、主体的に対話する流れを崩さないように盛り込みたい。
- 「間違いをもとにして真実に迫る」というアプローチはよい。そういった経験の積み重ねが積極的に意見を出す主体的な姿につながると考える。
- 生活経験と関連させる、既習事項と関連させる、新たに生じる疑問などを見つけることも主体的に学ぶ姿勢につながる。
- 汎用的なソフトウェアを利用し、共有して発表させることで、有効に時間が使える。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

瀬戸内町立諸鈍中学校（鹿児島県）【指定校】
瀬戸内町立与路中学校（鹿児島県）【協力校】

【取組内容】 外部専門家（学校薬剤師等）によるオンライン学習



薬物乱用防止教室は、学校保健計画に位置付けて、すべての中学校において年1回は開催するようになっていいます。そのため、これまで各学校が別々に薬剤師を呼んで、薬物乱用防止教室を行ってきました。

しかしながら、加計呂麻の各学校は、奄美大島本土からさらにフェリーで渡った離島にある学校です。学校薬剤師は、本土側の古仁屋の町にいたるため、船で渡ってきてもらわなければなりません。費用もかかるし、少ない便のフェリーがありますが、海が荒れて欠航することもこれまでありました。

そこで、比較的欠航が少なく費用の少なくて済む加計呂麻島の学校で講師依頼をし、そこから他の学校へGoogleMeetを利用し、リモートで講話をしていただきました。

5 時間目 **諸鈍小**→伊子茂小・西阿室小・池地小

6 時間目 **諸鈍中**→池地中



薬物乱用防止教室日程計画

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4	28日 9:30~10:30	○	○	○			
5	28日 10:30~11:30		○				
6	28日 14:15~15:15	○					
7	28日 15:30~16:30						
8	29日 9:30~10:30			○	○		
9	29日 10:30~11:30			○	○	○	
10	29日 14:15~15:15	○	○	○	○		
11	29日 15:30~16:30	○	○	○	○		学校保健委員会

←Googleのチャットとスプレッドシートを使って日程の調整

リーディングDXスクール事業【実践事例】

瀬戸内町立諸鈍中学校（鹿児島県）【指定校】
町内全ての小中学校 小学校10校 中学校8校【協力校】

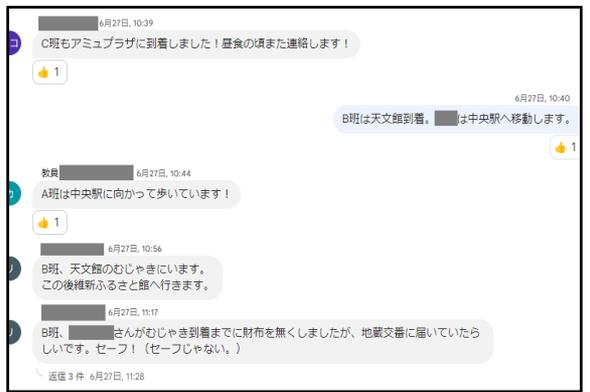
【取組内容】 Googleチャットと共同編集で業務改善

職員間の情報交換はGoogleチャットを使っています。校内だけでなく、与路島・請島・加計呂麻島の学校間の連絡もチャットを使っています。それぞれの学校の取組を共有し、参考にしたり、意見交換をしたりしています。

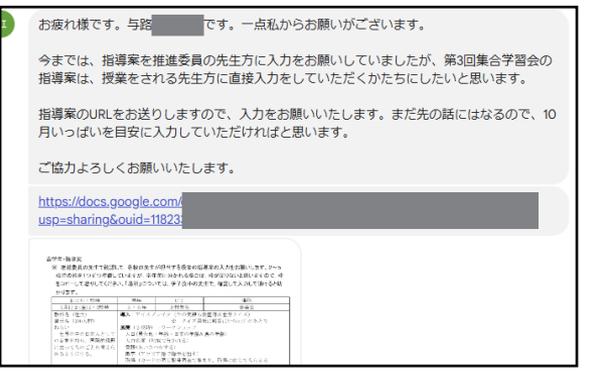
社会科見学や修学旅行の自主研修では、各グループの状況を連絡し合ったり（図1）、集合学習の事前打合せを行い指導案を共同編集したり（図2）します。養護教諭は兼務のため、勤務の連絡調整もチャットで行っています（図3）。

小学部も中学部も週報はGoogleスプレッドシートで作成し、いつでも確認できるようにしました。部会で話し合う内容を、前もって担当が書き込んでおき、話し合いが効率よく進められています。

また、リーディングDXスクールのチャットスペースを作成し、町内全ての小中学校の先生方と情報交換を行っています。



(図1) 修学旅行自主研修でのやりとり



(図2) 集合学習時の略案を共同編集



(図3) 兼務校との勤務の連絡調整

(図4) 中学校週行事予定表